

学校の教育目標

『かしこく やさしく たくましく』

- しっかり考え、進んで学ぶ子：確かな学力 何が重要か判断する力 自ら問いをたて、よりよく解決できる力
論理的思考力 情報活用能力 既存の価値観にとらわれず、自分の考えを発信できる力 (ESD/SDGs)
- 思いやりのある子：多様な人々と協働できる力 (多様性・平等性) 合わせる力 (相互性) 正しい人権感覚 ・あいさつ
コミュニケーション能力
- ◎明るく たくましい子：体力 学び続ける力 レジリエンス 挑戦する力

目指す学校像 (ビジョン) 例) 学校像, 教員像, 児童・生徒像

持続可能な未来を創造する子どもたちの育成：夢をもち、未来を切り拓く力

「子どもたちの笑顔があふれる学校」「教職員が子どものために生き生きと働く学校」「保護者・地域が子どもを通わせたい学校」
キーワードは～今よりもっと笑顔があふれるために、『たい』が泳ぐ学校づくり～ 「わかる・かかわる・はい、できた！」

ビジョンの設定理由
(本校の現状と課題)

現状・・・(学習面) 児童は楽しく、学び合い・教え合いながら学習に取り組んでいる。
思考ツールを活用し、深い学びの実現を果たしてきた。
(生活面) 集団のルールは多くの児童が身に付けている。児童と教員との良好な関係を築き、
チャレンジする機会を設け、自己肯定感が高めていく。
課題・・・さまざまな教育活動の中で、児童の主体性を育み、「わかる・かかわる・はい、できた！」の体験を児童へ積み重ねるために、昨年度までの思考ツールや ICT 機器を活用した質の高い授業を継続し、新たに、体育健康教育を通して、「良好な学習集団」の形成を目指し、いじめ解決・学力向上へつなげていく。

中期的な経営目標

- 1 体育健康教育の推進
- 2 自尊感情や自己肯定感を高める教育の充実
- 3 「主体的・対話的で深い学び」の具現化及び ICT 活用の推進
- 4 特別支援教育の推進
- 5 連携の推進
- 6 特色ある教育活動の推進

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>

1 豊かな心 (徳)	2 確かな学力 (知)	3 健やかな体 (体)
(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)
① 授業や行事を通して、良好な学習集団つくる 関わりたい、助けたい、協力したい	① 「わかる」「はい、できた」の実践 「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」 「何ができるようになるのか」の意識化。	① 体育健康教育の推進 東京都及び調布市の研究推進校をうけて、 児童の体力・健康意識の向上、授業力向上。
② 多様性を受け入れる学校	② 「かかわる」の実践	② 東京 2020 レガシーの充実
(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)
① 児童・保護者アンケートの肯定的評価を 学校が楽しい及び「関わりたい、助けたい、 協力したい」を90%以上 いじめの100%解決	① 授業の導入時にめあてを生徒と共有し、終 末に振り替えることを全授業で100%実施。 思考ツールの実践活用の推進。	① 体育の授業が楽しいという児童を90% 自分の健康についての知ろうとする児童を 90%
② 児童と教職員の人権感覚の醸成 児童にかかわる校内規則のを児童に考えさ せながら見直すし	② 自己の考え構築のためにワークシート等の 活用 (主体性)、ペア、小グループの実施 (かか わり、他者意見、クリティカルシンク)を60%	② 本物体験を継続実施していく。

学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>

4 特別支援教育の推進	5 連携の推進	6 特色ある教育活動の推進
(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)
① 校内委員会の組織化活性化	① 第四中学校との連携	① スポーツ大会の充実 新感覚と従来の内容の復活による融合
② 就学支援シートを活用するとともに、「個 別指導計画」「個別の教育支援計画」を作成し、 個に応じた指導を推進	② 地域との連携	② 若葉ステージの定着
(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)
① 担任・学年及び保護者を支援する具体的な 手立てを100%提示していく組織に醸成する	① 施設面の借用・授業実の共有・情報共有 中学校入学時の100%の情報共有	① 児童・保護者アンケートの肯定的評価を 90%以上
② 「個別指導計画」「個別の教育支援計画」 の100%作成と、個に応じた指導を推進	② 健全育成行事や地区協行事の参加 復活のために、まずは管理職が100%	② 児童・保護者アンケートの肯定的評価を 90%以上

人材育成・組織運営

- ・主観教諭の管理職としての資質向上 (主幹会や喫緊課題の解決を通して)
- ・適材適所の配置により、意欲と達成感をもたせ、主任教諭の学校運営意識の向上を図り、主幹教諭へ昇任させる。
- ・支援・応援・指導し、全教職員の職務内容や教育実践を実現させ、子ども第一主義の自立した教職員へ育成する。